

令和元年度「クールスポット」事業

アスニーシネマ山科スペシャル



青い山脈



青春のリバイバル



1949年/日本映画/170分

モノクロ

監督：今井正

出演：原節子 池部良 杉葉子
他

日時：令和元年8月8日(木)

午前10時より上映

～ 途中1時間休憩あり ～

開場は上映30分前より



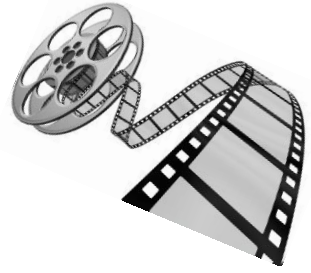
場所：京都市生涯学習総合センター山科
(ラクトC棟2F)

入場無料：整理券不要

先着100名様の入場とします

アスニー山科(075-593-1515)

青い山脈



～ あらすじ ～

ある片田舎町の駅前。金物商丸十商店の店先に一人の女学生が「母が手元に現金がないからこれを町へ持って行って学用品を買いなさいって……」と小さく海光女学校五年生寺沢新子と書かれたリュックの米をつき出した。店には近くの高校に通う留守番の六助がいた。会話をするにつれ六助と親しくなった新子は、六助のために昼ご飯を作ることに。だんだん事情を聞いてみると、新子は二人の母を持つ複雑な家庭環境を告白する。

一方英語教師島崎雪子は新子あてにきたラブレターを見せられて、友達のいたずらだという彼女の言分に何かしら尋常でない性格をつかみ、まして前の学校で転校を余儀なくされたこの娘に力になってやりたい衝動にかられる。そしてライ落な校医の沼田にこの問題を相談するが意外な答えだったので、ついながってしまう。

雪子は恋愛の問題を講義しつつ偽のラブレター事件を直接生徒達に説いてゆく。しかし生徒達は「学校のために」やったといい、その理由として新子の行動を六助と結びつけて曲解した例をあげた。雪子は生徒達の古い男女間の交際の考え方を是正しようと努力するが、それはますます生徒達の反感を買うばかりだった。教員仲間でも雪子の行動を苦々しく思い民主主義のはき違いなどといいつつ問題は次第に大きくなっていった。

新子はそのうづ巻の中にあっても、高校生の六助や富永たちとつき合っていく。ついに学園の民主化を叫ぶ名目で新聞にまで拡がり、沼田も黙っていられず、雪子の協力者となるが、暴漢に襲われる。

